

はすだね通信 第44号

みんなで進めよう
茨城農業改革

土浦地域農業改良普及センター

平成24年1月5日発行

フェロモン剤を使ったハスモンヨトウ防除

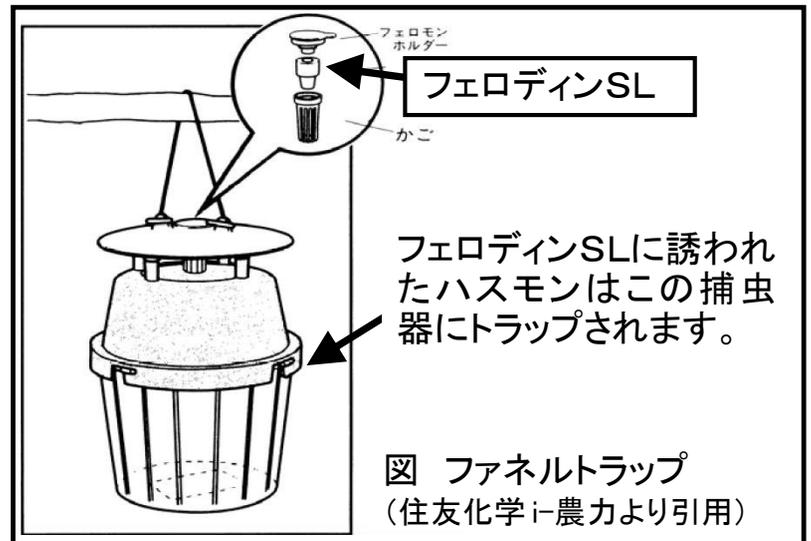
ハスモンヨトウ(以下、ハスモン)は雑食性の害虫で、夏が高温乾燥の年に大発生します。幼虫は最初、集団で葉を食害し、ある程度大きくなると(中齢以降)分散します。

昨年(平成23年)、土浦市の沖宿地区では商品名「フェロディンSL」というフェロモン剤を用いて、ハスモンの広域防除を試みました。今回は、その結果についてご紹介します。

フェロモン剤とフェロディンSLについて

多くの昆虫は「フェロモン」という物質を使い、メスがオスを呼び集めます。フェロディンSLは、ハスモン専用のフェロモン剤です。本剤をファネルトラップと呼ばれる捕虫器に入れると、そこにフェロモンに誘われた成虫がトラップされます。

フェロディンSLは、対象地域に広範囲(10ha以上)で、成虫密度が低い発生初期から、高さ1~1.5m程度に1ha当たり2~4台、本剤を入れた捕虫器を設置することで使用します。

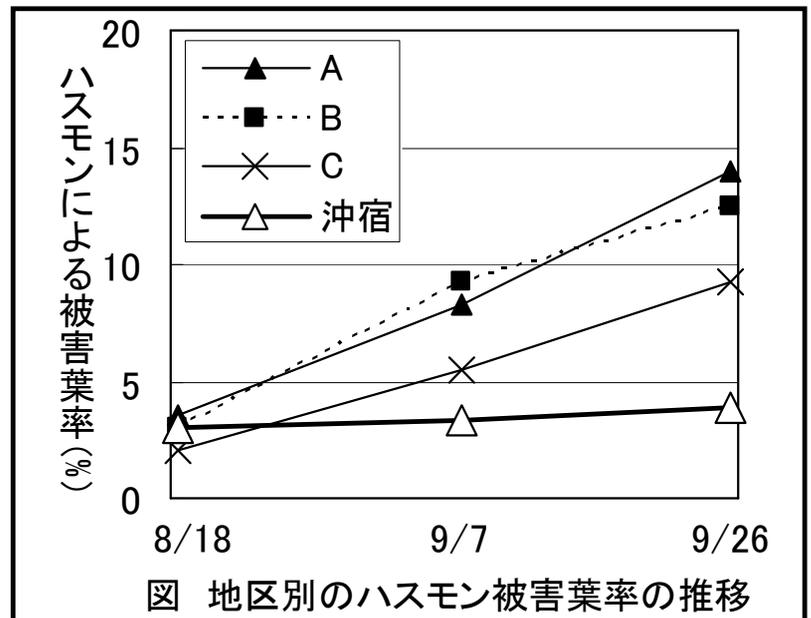


沖宿地区での防除事例

8月17、18日に沖宿地区の湖畔沿いの約75haでフェロディンSLを設置しました。その後、ハスモンの被害葉の調査を、沖宿地区とフェロディンSLを設置していない他のA~C地区で行いました。

その結果(右図)、A~C地区の被害葉率は徐々に上昇しましたが、沖宿地区ではほぼ変わりませんでした。これは、本剤の効果と考えられます。

次作では、さらに効果の安定を目指し、薬剤の設置をハスモンの発生初期に合わせる予定です。



平成23年度れんこん生産者研修会のご案内

「れんこん生産者研修会」を以下の内容で今年も開催します。お誘い合わせの上、ご参加下さい。内容についてのお問い合わせと出席の連絡は普及センターまでお電話下さい。

日時 平成24年2月21日13時30分~16時10分(受付13時)

場所 霞ヶ浦環境科学センター

内容 講演…「徳島県におけるレンコン栽培の現状と課題」

徳島県立農林水産総合技術支援センター 沢田英司氏

情報提供…線虫、イネネクイハムシ、フェロディンSLなど

農業は正しく安全に使いましょう!!!